

2004年4月29日(木曜日)

県民に信頼され、 心あたたまる 病院をめざして



新県立病院5月6日から診療スタート



新県立病院開院式(平成16年4月25日)

4月25日(日)、新県立病院の開院式が行われました。50年以上にわたり福井県の医療界で中心的な役割を果たしてきた県立病院が、初めて全面的にリニューアル。いよいよ5月6日(木)から一般外来の診療を開始します。今回は、県民に信頼され、心あたたまる医療をめざす新しい県立病院を紹介します。

ニーズに合わせ、常に充実した医療サービスを

昭和25年4月、8診療科、病床数100床でスタートした県立病院。昭和49年に、がん、生活習慣病の早期発見・予防を目的とした成人病センターを、さらに、昭和58年には重症患者を中心に24時間体制で診療にあたる県内唯一の救命救急センターを開設するなど、社会環境や疾病構造の変化、医療ニーズの多様化に対応し、常に充実した医療サービスの提供に努めてきました。

本棟の完成により、精神科も含め19診療科、病床数1,025となります。昨年の年間延べ入院患者数30万人以上、延べ外来患者数35万人以上と、自治体病院としては全国屈指の規模です。

21世紀にふさわしい病院として

<p>基本理念</p>	<p>私たちは、総合的かつ高度な医療の提供を通じて、県民に信頼され、心あたたまる病院をめざします。</p>
	<p>1. 質の高い医療、特殊・先駆的医療を提供します。</p>

基本方針

2. 安全管理を徹底し、患者本位の医療を提供します。
3. 救命救急医療の充実をはかります。
4. 地域医療機関との連携に努めます。
5. 健全な経営に努めます。

高度で専門的な医療の提供

急速な医学の進歩に対応できる地域の基幹的な病院として、新しい医療ニーズにも対応し、高度で専門的な医療サービスを提供します。

●がん医療の充実

がん治療を専門に行う核医学科を新設し、CT、MRIをはじめとする最先端の高度医療機器を導入するなど、がん医療をさらに充実します。

●女性専用外来の新設

女性専用外来を2階の外来診察室に新設し、週3日、女性医療スタッフが対応します。



●母子医療センターの新設

切迫早産や胎児異常などに対応する母体・胎児集中治療室、未熟児や病気の新生児を治療する新生児集中治療室などを設け、妊娠後期から出産直後までの母子の生命と健康を守ります。

●緩和ケア病棟の新設

主に末期のがん患者のための病棟を新たに設け、終末期の医療サービスを充実します。



三次救急医療の充実

救命救急センターには、専門医が24時間常駐します。救急車が横付けし、また、屋上に設けたヘリポートから患者をスムーズに搬送するためヘリコプターの到着に連動してエレベーターが移動するなど、救急患者や災害時の患者に対応します。

また、治療室と病室を1フロアにまとめ、より迅速で的確な救急医療を提供します。



救急患者の搬送訓練に取り組む医療スタッフ
(平成16年4月17日)

大規模災害時医療への対応

大地震が発生しても医療活動に支障が出ないように、建物は地震に強い免震構造です。また、停電時に備え非常用発電機を設置したり、3日間程度の水の備蓄を行うなど非常時の電気、水、熱源などの確保や備品の備蓄に配慮しています。

より快適な環境に

○エントランスホールは3階まで吹抜けで、自然の光を取り入れ、明るく開放感がいっぱいです。常緑樹が植えられ、緑あふれる癒しの空間となっています。

○1階～2階の外来診療では、外待合と中待合の2つに分けられています。外待合は広くゆったりとしたスペースで、落ち着いて自分の順番を待つことができるよう配慮しています。

○プライバシーに配慮し診察室を個室化しています。

○手術部、集中治療室、検査部門を4階に配置しスムーズな連携を確保します。

○6階から12階の一般病棟は、個室と4人部屋になっています。4人部屋では、それぞれのベッドに専用の窓があります。すべての病室にトイレを配置し、患者の負担軽減と早期離床を図ります。また、面会に来た方と団欒したり食事ができるよう食堂・デイルームなどが設けられています。

○入院食は、メニューを選択できたり、適温適時給食に配慮しています。

○障害のある方や体の弱い方の利便性を図るため車椅子トイレや多目的トイレを設置しています。また、お子さんを連れて来院される方のために、ベビーベッドやベビーチェアを設置しています。

○診療・看護などの情報を一元的に管理し、患者の方が迅速でスムーズな医療サービスを受けられるよう、電子カルテを導入します。



緑豊かなエントランスホール



ゆったりした待合スペース



一般病棟の食堂・デイルーム



窓やトイレに配慮した4人用の病室



診療記録や検査画像などを一元的に管理する電子カルテシステム

県民の皆さんのために

県民の皆さんのご意見を新しい病院に反映させるため、2月にモニター見学会を開催しました。参加された311名から寄せられたご意見を参考に、エントランスホールへの時計の設置、病棟の案内マップの増設、外来トイレへのベビーシート増設などを改善しました。



また、適切な医療サービスをスムーズに提供できるよう、実際の作業を想定した総合リハーサルを何度も行いました。

総合リハーサルに参加した

救命救急センター 医師

又野 秀行 氏

救急医として行った処置が適切で患者さんの症状が軽くなった時、また、パトタッチした専門医の治療で患者さんが早期に回復された時などに、やりが

いを感じます。早く新しい病院に慣れてどんなに忙しくても、冷静で的確に対応できるよう努力していきたいです。

県立病院は、今後さらに、平成20年の完成を目指し、精神病棟や立体駐車場などの整備を進めていきます。施設の充実だけでなく、総合的かつ高度な医療を提供することで、県民に信頼され、心あたたまる病院となるよう、さらに努力を重ねてまいります。

県民の皆さんの一層のご理解、ご支援をお願いします。

新県立病院[本棟]の概要

延床面積	61,241平方メートル
構造	地上12階、地下2階 鉄骨鉄筋コンクリート造 免震構造
病床数	679床(一般病床665床、感染症病床4床、結核病床10床)
診療科	19科 内科・神経内科・小児科・外科・整形外科・脳神経外科・心血管外科・皮膚科・形成外科・泌尿器科・産科・婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・麻酔科・放射線科・リハビリテーション科・歯科口腔外科・精神科

各階の配置

屋上	ヘリポート
7階~12階	一般病棟
6階	緩和ケア病棟、母子医療センター、人間ドック病室、一般病棟
5階	医局、事務局、診療録管理室、図書室、機械室
4階	手術室、集中治療室、検体検査、病理検査
3階	健康診断センター、リハビリ室、血液浄化室、難病支援センター、講堂
2階	外来診察室(外科系・精神科)、生理検査・ベビーコーナー、レストラン、売店、理容室、ラウンジ
1階	総合受付、薬局、外来診察室(内科系)、画像診断(X線、CT、MRI)、血管造影、救命救急センター
地下1階~2階	薬剤部、栄養管理室、放射線治療室、発電機室、熱源機械室

↑ 図をクリックすると拡大表示します

所在地

〒910-8526 福井市四ツ井2丁目8-1

TEL 0776-54-5151(代)

交通

- JR福井駅市内バス11番停留所から乗車
約15分「県立病院前」下車
- えちぜん鉄道福井口駅から、徒歩約10分
- JR福井駅から車で約5分



↑ 図をクリックすると拡大表示します

●お知らせ●

本日4月29日(木)から新しい病院への移転作業を開始します。このため、明日4月30日(金)の一般の外来診療は休ませていただき



- 県立病院についての詳しい内容は、県のホームページに掲載されていますので、ご覧ください。(URL <http://info.pref.fukui.jp/imu/fph/index.html>)
- この記事に関するお問い合わせは、**県立病院医療サービス課 TEL 0776(54)5151**までどうぞ。

ます。

ご不便をお掛けしますが、よろしくお願
いします。

 **BACK**

